

 <p>日野中だより13号 発行：令和5年2月13日（月） 文責：佐世保市立日野中学校 校長 池田 美祐紀</p>	<p>校訓 愛 学校教育目標 心豊かで活力に満ちた生徒の育成 学びあい 認めあい 支えあい</p>
--	--

☆日野中 HP にカラー版を UP しています。鮮明な画像は、そちらをご覧ください。

立春・節分を迎えて



2月の行事として馴染みの深い「節分」について、校内放送で話をしました。実は、節分は年に4回あるのですが、知っていましたか？「節分」は漢字のとおり、「季節の分かれ目」を意味します。この季節の節目となる「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日が「節分」に当たるので、節分は本来、年に4回あるということなのですね。この中で、旧暦の1年の始まりである春の節分が重要視され、現在の節分と認識されるようになったのだそうです。

節分は2月3日だと思っている人が多いと思いますが、毎年2月3日とは限りません。節分は立春の前日なので、立春の日付に合わせて変わります。2021年の節分は2月2日でしたよね。2025年は、また2月2日になるそうです。令和6年、来年の節分は、2月3日（土）です。来年の節分にも、今日の話をお出ししてくれると嬉しいです。



生徒会役員交代 旧役員→新役員へ

1月10日（火）生徒会役員交代式が行われました。島崎生徒会長から佐藤新生徒会長にしっかりと日野中校旗が引き継がれました。

◇生徒会長 島崎 凧生：お礼のことは

2年間、生徒会役員としてたくさんのことを学びました。中でも一番大切だと思ったのは、仲間と協力することです。生徒会活動は、もちろん「楽しい」だけではありませんでした。何か行事が近づけば仕事の量が増え、昼休みだけではなく、放課後も残って仕事をする機会が多くありました。また、一つ一つの仕事を学校主体で運営する責任があり、正直大変でした。しかし、今の感想は「楽しかった」です。一人では乗り越えられないことでも、仲間と協力すれば乗り越えられると思ったし、生徒会活動に大きなやり甲斐を感じました。このメンバーと一緒に活動できた時間は私の宝物です。私が立会演説会の際に述べた「生徒の生徒による生徒のための生徒会活動」と「和～平和・協和・親和～」のスローガンは共に達成できたと思っています。専門委員会をとおしてみなさんと繋がり、生徒総会では生徒が一丸となり日野中学校について考え、話し合いをしました。どの行事でもみなさんがたくさん練習をし、楽しみ、盛り上げてくれたからこそ成功したのだと思います。



これからは、佐藤さんをリーダーとした新生徒会役員のみなさんを中心に、よりよい日野中学校を築いてくれることを期待しています。最後になりましたが、一年間本当にありがとうございました。

○新生徒会長 佐藤 頼香：決意のことは

今、私がこの場に立つことができたのは全校生徒みなさん、先生方の協力と心温まる支えのおかげであるということ強く心に留め、新役員12名それぞれが感謝の気持ちと責任感を持ち、全力を尽くしていきます。今、託された校旗には、これまでの先輩方がつくりあげてくださった日野中への熱い思いや懸命な努力の証が込められており、自信、希望、勇気の重さを感じます。この重みを日野中の未来への糧にして、日野中生徒全員が支え合い、胸を張って前進していけるような素晴らしい日野中をつくりあげていきます。



また、私のスローガンである「笑顔」を増やすため、相手の心に届くような挨拶を強化したり、お互いの心を通わせることができる「ありがとう」をたくさん言うことができたり、一日でも多く学校に通いたいと思えるような取組を考え活動していきます。そして、生徒会を中心として仲間と共に協力しアイデアを出し合いながら、どんなに転びかけても失敗しても、めげずに先頭に立ち、一致団結して日野中を引っ張っていきます。

最後になりましたが、校訓である「愛」をもち、心豊かにたくましく、全校生徒一丸となって活力あふれる日野中を築きあげていきましょう。

<執行部役員のことば> (あいさつ原稿より一部抜粋)

◇副会長 大山拓朗

生徒会活動を経験した中で、特に印象に残っていることが2つあります。1つ目は生徒会総会です。みなさんがたくさんよい意見を出してくださったため、この学校をよりよい学校にすることができました。2つ目はボランティア活動です。みなさんのご協力のおかげで、たくさんの募金とペットボトルキャップを集めることができました。日野中には、思いやりがあふれていると実感し、とても嬉しかったです。



◇副会長 岩下采倅

私が生徒会活動を行う上での目標は、「愛で溢れる学校をつくること」でした。「愛」という漢字の真ん中に心があると思います。その心の上下に手・足という意味の形が付け加えられているということから、「愛」とは真心をもって相手と接すること。私は真心をもった生徒で溢れる学校をつくるために、あいさつをしたり、話し合いに参加してきたつもりです。一年間、本当にお世話になりました。

◇書記局員 山口倅奈

私は昨年度の生徒会選挙で「校内新聞をもっと多くの人に見てもらえるようにしたい。」と言いました。この目標を達成できたと思います。新聞作成は一番力を入れた活動でした。記事の内容や色彩を工夫し、イラストを描いたりしました。その努力が実り、新聞の掲示場所に生徒や先生方が集まるようになり、感想を言ってくれる人もいました。みなさん、新聞を見てくださり、ありがとうございました。

◇書記局員 中川内祥真

生徒会活動をとおして学び、成長につながったことが3つあります。1つ目は、新聞や専門委員会の記録をわかりやすくつくることできるようになりました。2つ目はあいさつ運動です。早く起きる習慣を身に付けることができました。3つ目は体験です。連合生徒会で他校の役員と話し合いをしたことや進行をとおしてできるようになったことを今後に生かし、これからは生徒の一人として日野中を支えていきたいと思っています。

◇書記局員 山北理央

一年間を終えてみると、反省も課題もたくさんあります。大変だけど、やり甲斐を感じた楽しい一年間でした。書記局員の主な仕事である新聞には力を入れ、他の局員と切磋琢磨してきました。来年からもこの気持ちを忘れず、新しい具体策を取り入れ、今まで培ってきた経験をよい方向に生かせたらと思います。

(敬称略)

※専門委員長のことは次号で紹介します。